

ハイハイプロジェクト実施報告書

- 1 実施日 平成27年2月9日(月)、10日(火)
- 2 実施団体 宮城県東部保健福祉事務所(石巻保健所)
- 3 実施場所、参加状況等

日	時間	場 所	内 容	人数
2/9 ①	10:30～ 11:30	東松島市 赤井南保育所りす組	発達を促す関わり、体を使った遊びの体験(2歳児、保育士、保健師)	園児:14名 保育士:8名 保健師:2名
2/9 ②	13:00～ 15:00	東松島市役所	乳幼児運動発達支援研修会 (母子保健関係者、保育士)	保健師:5名 保育士:15名
2/9 ③	15:30～ 17:00	保健センター	乳児健診での関わり方、気をつけること(保健師:健診従事者)	保健師:7名 栄養士:2名
2/10 ④	10:30～ 11:30	東松島市 子育て支援センター	運動発達についてのミニ講話 発達を促す関わり、体を使った遊びの体験(4ヶ月～1歳児親子、保育士、保健師)	乳児:21名 保護者:21名 保育士:10名 保健師:4名

- 4 冊子配布 「ハイハイのすすめ」 55部
- 5 研修会アンケート結果 別添のとおり
- 6 実施内容

① 発達を促す関わり、体を使った遊びの体験(2歳児:りす組園児)

2歳児に対して発育発達に沿った運動遊びの指導、その様子を保育士や保健師が見学。

- ・手で体をさする(手、足、脚、お腹、顔など)
- ・最初と最後に大きな声で1～10まで数える(声の出方を確認)
- ・寝返り、ハイハイ(マットや傾斜を利用して)
- ・ソフト積み木を並べて「渡る」、グラグラする体験

始めは大きな声が出なかった園児も、たくさん体を使って遊んだ後はとても大きな声が出るようになった。

1時間があったという間に終わったが、最後には園児が「次は何やるの～、まだやりたい!!」と私に寄ってきた。最高の褒め言葉でとても嬉しかった。





② 乳幼児運動発達支援研修会（10月、12月、1月と同内容）アンケート結果別添
 今回も10月、12月、1月に行った研修会と同じ内容で専門職（保健師、保育士）対象
 に実施。

1月に行った仮設集会施設の保育士さんから、「その時の参加者で、なかなかハイハイが
 できなかったお子さんが、私が指導したことを行ったらまもなくハイハイできるよう
 になってお母さんも大変喜んでいた」という嬉しい報告があった。



③ 乳児健診での関わり方、気をつけること

東松島市からの要望で、乳児健診での関わり方や注意する点についてお話しした。

- ・各健診での運動発達の確認事項とその後の運動発達を促すための指導（注意）事項
- ・ハイハイなどの運動が、どうしても上手くいかなかったり少なかったりした場合は、「やり直しができる、遊びの中で補うことができる」ことをしっかり伝えること
- ・育児体操（別冊発達3：子どもの姿勢運動発達—早期診断／早期治療への道—より）

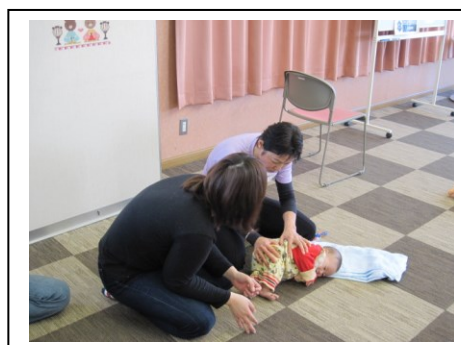
④ 運動発達についてのミニ講話と発達を促す関わり、体を使った遊びの体験

非常に沢山の親子の参加と、前日研修を受けた保健師、保育士が実際の指導を見学に来て下さったことで、施設がいっぱいになった。

- ・赤ちゃんの運動発達、ハイハイの大切さなど保護者にミニ講話
- ・発達を促す運動
 - 抱っこの仕方、うつ伏せの仕方、手支持を促す体操など
- ・ハイハイ相談
 - 個別の相談・指導の実施（多くのママたちから個別に相談があった）

・ママの体操

背中をお互いにさする、胸を開く体操などを行った。(頑張っているママたちが笑顔でいるために)



【所感】

今回も石巻保健所の担当者の準備のお陰で、参加者も多く無事に終わらせていただいたことに感謝いたします。

保育園での子ども達の様子は、思いきり体を使って遊ぶことでどんどん元気になっていく様子が窺えました。保育士さん方が、その園の施設や道具で何ができるかのヒントを掴んでくれたら嬉しいと思います。

毎回感じることは、研修に参加された方の眼差しから真剣な思いが伝わってきます。アンケート結果からも、人の発育発達に沿った運動がなぜ大切なのかを再確認できたことや自信を持って今後の業務に取り組んでいただけることが分かります。

石巻保健所の担当者の話によると、話を聞いて知識を入れるだけでなく、現場にすぐ活かせる内容なのでとても良いそうです。

また、研修（講義）を聞いた後、実技指導の現場を見てほしいと声掛けして下さることも大変有難いことです。実際の指導の様子を見ていただくことで、より現場で活用できるものと思います。

乳幼児に関わる専門職の方が日々の業務の中で取り組んでいただくこと、ママたちが同じ話を聞いて下さることで専門職の方がより活動がしやすくなること、そして、家庭でも取り組んでもらえること、こんな相乗効果で子どもたちが元気に育っていくともものと確信いたします。

震災後大変厳しい状況と思いますが、大人たちが子ども達にどんな環境を与えられるかのヒントになればと思います。

今回は、2歳児の子ども達に沢山の褒め言葉をもらい、今後の活動に勇気と元気をもらえたことに感謝です。

平成27年2月18日

報告者 樋口和子